



西荻窪町会 防災会だより



21号

平成 26 年 7 月 5 日 / 西荻窪町会防災会発行

ゲリラ豪雨などの気象情報。熱中症にも十分ご注意ください！

夏の災害を防ぎましょう

夏に起こりやすい事故やトラブル。
花火の破裂や火傷。スプレー缶の破裂や凍傷。バーベキューなどでの着火剤の爆発。自動車内でのライター破裂、火傷。この他、長年使用の扇風機、換気扇による事故や火災。
気の緩みからも災害は起きます！

杉並区消防団操作大会 6月14日(土) 午前9時半～

西荻窪町会防災会会長、副会長の所属する消防団が「消防操作大会」に出場。放水までの操作手順やタイムを競うこの大会で日頃の訓練の成果を発揮。防災会会長北さんが、敢闘賞を受賞しました！



防災会会長の勇姿！

消火訓練実施しました！ 西荻南区民集会

6月15日(日) 午前9時～ 120名が参加

神明通りのあさ市が行われている中で訓練開始。サッカーのワールドカップ日本戦と重なっていたにもかかわらず、120名の方が興味を持って参加してくださいました。放水の訓練をメインに実施。「放水はじめ！」「放水止め！」の手信号も体験していただきました。参加者にはお茶をお配りしました。

西荻窪町会では町内のさまざまな場所で訓練を行っています。町内の方だけでなく、どなたでも参加いただけます。もしものために、何度でもご参加ください。



荻窪地区町会連合会研修旅行 6月26日(木)

震災発生後72時間、生き延びられるか。体験学習しまし

今年度、研修旅行の当番町会である西荻窪町会では、防災を観点に旅行を計画。首都直下地震などの大規模な災害発生時に、被災情報の取りまとめや災害応急対策の調整を行う「災害現地対策本部」などが置かれる防災拠点施設「東京臨海広域防災公園」に行ってきました。

ここには防災について学べる「そなエリア東京」(無料防災体験学習施設)があり、震災発生後救助が来るまでの72時間を生き

延びることができるかというシミュレーションができます。災害発生後の状況を再現した街並みの中で、どう対応したらいいのか。町の中には、地震対策として家具の固定をしていた部屋と、していない部屋もあり、その状態の違いに目を見張りました。このほか、身近なものを災害時にどのように活用するかといった展示。他国での防災グッズの展示などがあり、とても勉強になった1日でした。



災害直後の街並みを再現



防災用品の展示に見入る役員

★ご意見、お問い合わせは西荻窪町会防災会 担当：北あきのり まで

西荻窪町会のホームページをご覧ください <http://nishiogikubo-chokai.com>